

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
令和2年度 研究報告書
肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除への方策に資する疫学研究

令和2年度 肝炎ウイルス検査受検状況等実態把握調査（国民調査）
中間報告書

研究代表者 田中 純子¹⁾

共同代表者 考藤 達哉²⁾

厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）「肝炎総合政策の
拡充への新たなアプローチに関する研究」（政策拡充班 考藤達哉）と合同で実施

研究協力者 秋田 智之¹⁾、杉山 文¹⁾、島上 哲朗³⁾

1) 広島大学 大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学

2) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

3) 金沢大学附属病院 地域医療教育センター、消化器内科

研究要旨

本研究は、2011・2017年度実施の「肝炎検査受検状況実態把握事業」の結果と比較することにより、受検状況の経年的変化だけでなく、受検を認識していない人の特徴を覚えている人の特徴を明らかにし、今後の肝炎ウイルス検査及び治療をさらに推進するための肝炎対策の基礎資料として活用すること、また非認識受検率の低下に繋がる方策を明らかにすることを目的とした。

なお、この調査は、厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）「肝炎総合政策の拡充への新たなアプローチに関する研究」（政策拡充班 考藤達哉）と合同で実施している。

20～85歳までの日本人20,000人を対象とした国民調査を実施した。郵送による調査票配布及び回収を行った。対象者選定にあたり、各都道府県別の受検率を見込み受検率50%、絶対精度10%、回収率30%で算出可能なように設定し、全国から250自治体（各自自治体対象80人）を抽出した。

調査期間は令和3年3月3日（水）～令和3年3月31日（水）、白票等の無効票を除いた有効回収数は8,810件（回収率44.1%）であった。

現時点では、回収が漸く修了し、暫定的な1次集計結果を得たところである。

本報告では、暫定的な結果について示す。

回答者の背景は、回答者全体では男性40%（2017年度37%）、女性48%（同46%）、男女比は1:1.22（同1:1.23）であり、前回2017年度調査とほぼ同様であった。

各ブロック別の回答率は36～46%であった。

年齢階級別に回答者をみると、60歳代・70歳代20%、50歳代16%など、50歳以上が6割を占めており、これも前回2017年度調査とほぼ同様であった。

肝炎ウイルス検査を受検したものは、回答者全体では23.7%（未補正值）であった。

都道府県別に肝炎ウイルス検査を受検したものの割合は18～36%であった。

引き続き、令和3年度には非認識受検、認識受検に関わる要因や検査陽性者の医療機関受診後の行動についての詳細な解析を行い、報告する予定である。

A. 研究目的

平成 23 年度に「肝炎検査受検状況実態把握調査」(国民調査)が実施され、B 型、C 型肝炎ウイルス検査の認識受検率はともに 17.6%、非認識受検も含めたトータル受検率はそれぞれ、B 型 58.4%、C 型 48.0%であった。その後の肝炎対策の取り組みや国民の肝炎対策に関する現状を把握するために、平成 29 年度に、同様の調査を行った結果、認識受検率は HBV では 20.1%(2011 年 17.6%)、HCV では 18.7%(同 17.6%)であり、微増傾向がみられた。一方、非認識受検を含めた受検率は HBV では 71.0%(同 57.4%)、HCV では 61.6%(同 48.0%)であり、増加傾向がみられた。

本研究は、全国民における肝炎ウイルス検査の受検状況を把握するとともに、2011・2017 年度実施の「肝炎検査受検状況実態把握事業」の結果と比較することにより、受検状況の経年的変化だけでなく、肝炎ウイルス検査の受検促進のための取り組みがどのように国民に認知されているか／認知されていないのか、受検を認識していない人の特徴、結果が陰性であっても受検したことを覚えている人の特徴を明らかにし、また、認識受検者のうち「検査陽性」であった者のその後の医療機関受診状況を把握し、肝炎ウイルス検査の取り組みについて、国民に対する正しい知識の普及啓発を効果的に推進し、今後の肝炎ウイルス検査及び治療をさらに推進するための肝炎対策の基礎資料として活用すること、また非認識受検率の低下に繋がる方策を明らかにすることを目的とした。

なお、調査票回収が令和 3 年 2 月であったため、本年度の研究報告書は調査方法と調査結果の単純集計の結果までを掲載し、令和 3 年度に詳細な解析結果を実施・報告する予定である。

なお、この調査は、厚生労働行政推進調査事業費補助金(肝炎等克服政策研究事業)「肝炎総合政策の拡充への新たなアプローチに関する研究」(政策拡充班 考藤達哉)と合同で実施している。

B. 研究方法

1. 調査対象者

対象者選定にあたり、各都道府県別の受検率を見込み見込み受検率 50%、絶対精度 10%、回収率 30%で算出可能なように設定し、全国から 250 自治体(各自治体対象 80 人)を抽出した。調査期間は令和 3 年 3 月 3 日(水)～令和 3 年 3 月 31 日(水)、白票等の無効票を除いた有効回収数は 8,810 件(回収率 44.1%)であった。各自治体の選挙人名簿から層化二段階無作為抽出法により選ばれた 20 歳～85 歳の日本人 20,000 件(250 自治体×80 件)を対象とし、郵送による調査票配布及び回収を行った。

2. 調査項目

調査項目は、採血結果の受け取りの有無、要精密検査となった場合の行動、かかりつけ医について、ウイルス性肝炎の認知、肝炎ウイルス検査の受検経験、受検したことを覚えている理由、陽性者の受信状況、未受検の理由と今後の意向、献血・妊娠・出産・手術経験の有無、肝炎対策・受検勧奨取り組みの認知状況、および QOL 調査で用いられる EQ-5D-3L の質問項目について調査した。調査内容は別途【参考資料 調査票】に示す。

C. 研究結果

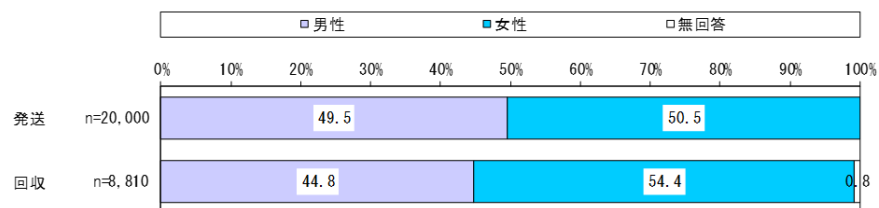
現時点では、回収が漸く修了し、暫定的な 1 次集計結果を得たところである。本報告では、暫定的な結果について示す。

1. 対象者の属性

回答者全体の性・年齢分布を図 1 および 2 に示した。

回答者の背景は、回答者全体では男性 40% (2017 年度 37%)、女性 48% (同 46%) であり、男女比は 1:1.22 (同 1:1.23) であり、前回 2017 年度調査とほぼ同様であった。各ブロック別の回答率は 36～46%であった。年齢階級別に回答者をみると、60 歳代・70 歳代 20%、50 歳代 16%など、50 歳以上が 6 割を占めており、これも前回 2017 年度調査とほぼ同様であった。

①性別



②年代別

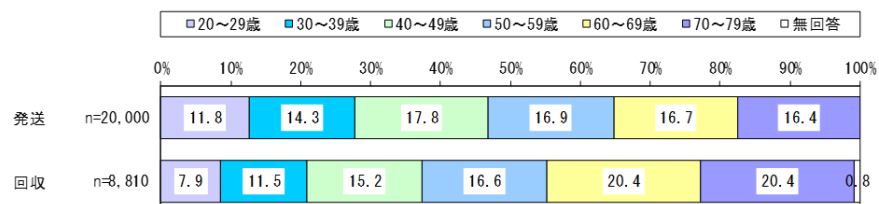


図 1. 調査対象者（発送）および調査回答者（回収）の性別分布・年齢分布（令和 2 年度調査）

2. 肝炎ウイルス検査受検率

都道府県別にみた肝炎ウイルス検査の受検状況を図2に示した。肝炎ウイルス検査を受検したものは、回答者全体では23.7%（暫定未補正值）で

あった。都道府県別の肝炎ウイルス検査を受検したものの割合は18~36%であった。

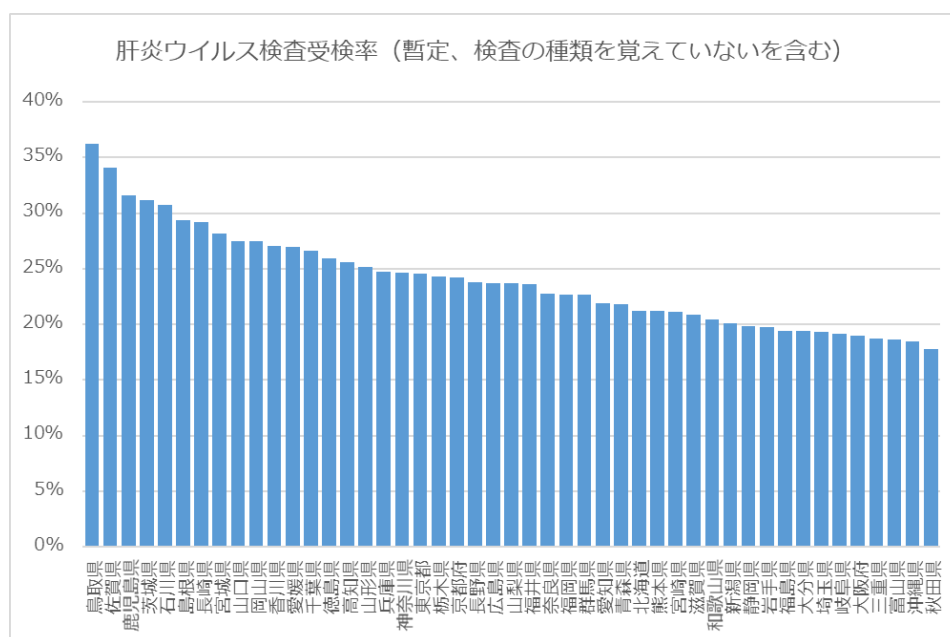


図 2. B 型または C 型肝炎ウイルス検査の受検率（暫定、検査の種類を覚えていないを含む）

3. 肝炎ウイルス検査を受検したことを覚えている理由について

肝炎ウイルス検査を受けたと答えた 2,085 人に、受けたことを覚えている理由については、体調・健康に関する理由（健康に関する情報が気になる 40.8%、自身の肝臓・肝機能が気になる

27.4%など）が 67.4%、偶然に関する理由（このアンケートを受けて思い出した 23.6%、なんとなく 17.0%など）が 51.1%、広報に関する理由（肝臓や肝炎に関するニュース 20.8%、肝炎ウイルスに関する広報を見たから 20.0%など） 44.7%などであった。

4. 献血・手術・妊婦健診で肝炎ウイルス検査を行っていることを認知度

回答者全体 8,810 人のうち、献血の経験があるものは 50.8% (4,478 人)、大きな手術をしたことがあるものは 33.4% (2,940 人)、女性の回答者 4,795 人のうち妊娠・出産の経験があるものは 75.9% (3,639 人) であった。

献血経験のある 4,478 人のうち、献血された血液に対して B 型肝炎ウイルス検査をしていることを知っているものは 45.0% (811 人)、C 型肝炎ウイルス検査をしていることを知っているものは 40.7% (734 人) であった。

手術経験のある 2,940 人のうち手術前に B 型・C 型肝炎の検査を受けたと答えたものは 9.5% (279 人) であった。

妊娠・出産経験のある 3,639 人のうち、妊婦健診で B 型肝炎ウイルス検査を行っていることを知っていたものは 17.8% (648 人)、C 型肝炎ウイルス検査を行っていることを知っていたものは 14.0% (509 人) であった。

D. 考察・E. 結論

調査票回収が令和 3 年 2 月であったため、現時点では、回収が漸く修了し、暫定的な 1 次集計結果を得たところである。本報告では、暫定的な結果について示す。令和 3 年度には非認識受検、認識受検に関わる要因や検査陽性者の医療機関受診後の行動についての詳細な解析を行い、報告する予定である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

令和2年度 肝炎ウイルス検査受検状況等実態把握調査

【調査票のご記入にあたって】

◇この調査は、国民の皆様がどの程度肝炎ウイルス検査を受検されているか、どの程度肝炎ウイルス検査についてご存知か、お伺いするものです。

◇ご回答頂いた内容は、今後の肝炎ウイルス検査受検についての普及啓蒙のための政策立案の基礎資料として、肝炎総合対策のより一層の充実強化を図る目的で活用されます。皆様のご意見やご意見を政策に反映するため、何卒ご協力をお願い申し上げます。

◇この調査の対象者は、国内に居住する20歳から85歳の方の中で、各自治体に了解を得て運送人を携および住民基本台帳から全国で250地点、無作為に抽出した20,000人の方となっております。この調査票をお送りした際の封筒の宛名の方が、お答え頂きますよう、お願いいたします。

◇この調査においては「肝炎ウイルス検査」とは、特に説明が無い場合はB型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査両方のことを指します（それ以外の型の肝炎ウイルス検査については含めません）。

◇質問の中で、「あてはまる番号ひとつ」に○をつけて頂くもの、「あてはまる番号すべて」に○をつけて頂くものなどがあります。質問の指示に従い、あてはまる番号に直接○をつけてください。また、質問の中で、「その他」の項目番号を選んだ場合には、() 内に内容を具体的に記入してください。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査票は2021年 月 日() までにご回答頂き、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送くださいますようご協力をお願いいたします。

厚生労働行政推進調査事業費補助金 肝炎等克服政策研究事業
「肝炎総合対策の拡充への新たなアプローチに関する研究」班
国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター
研究センター長 / 肝炎情報センター長 斎藤 達哉

厚生労働科学研究費補助金 肝炎等克服政策研究事業
「肝炎ウイルス感染状況の把握及び肝炎ウイルス排除への方策に関する疫学研究」班
広島大学 大学院医系科学研究科 疫学・疾病制御学
教授 田中 純子

【調査問合せ先】

株式会社サードパーティリサーチセンター 令和2年度 肝炎ウイルス検査受検状況等実態把握調査 事務局
電話 : 0120-549-520（土日祝除く10:00～17:00（12:00～13:00は除く））
所在地 : 〒730-0032 広島県広島市中区立町2-29 朝日・白通広島ビル3階



パソコン・スマートフォンでご回答される方

<https://r10.to/r2kanen>

にアクセスし、ログインIDを入力してください。

※パソコン・スマートフォンで回答された場合には、調査票のご返送は不要です。

あなたの
ログインID
QWER12

QRコードは神戸市ウェブの識別図です

問1 以下の問にお答えください。

(1) 医療機関で採血検査を受けた場合、担当医は検査結果の増えをあなたに渡しますか？

1. 必ず渡される 2. 渡されない 3. 渡されるときと渡されないときがある

(2) あなたは、健康診断で「要精密検査」となった場合、どうしますか？

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 検診を実施した機関に問い合わせる
2. 家族・友人に相談
3. インターネットで情報収集
4. 自治体・保健所の相談窓口相談
5. かかりつけ医を受診し相談
6. かかりつけ医とは限らないクリニック・診療所を受診し相談
7. とりあえず総合病院を受診
8. その他（具体的に： ）
9. その他（具体的に： ）
10. 何もしない

(3) あなたには、かかりつけ医※といえる医師がいますか？

※日本医師会では、「健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」をかかりつけ医と呼んでいます。

1. いえる 2. いえない 3. その他（具体的に： ）
- 2ページの問2に進んでください

【かかりつけ医といえる医師がいる場合】

① あなたは、かかりつけの先生の専門の分野を知っていますか？

1. よく知っている 2. なんとなく知っている 3. よく知らない

② あなたは、かかりつけの先生の専門分野外の病気になる場合どうしますか？

(例、かかりつけの先生の専門が糖尿病で、自分が肝臓病になった場合)

1. かかりつけの先生にまず相談する
2. 直接専門の先生を探して受診する
3. その他（具体的に： ）

問2 あなたは、B型肝炎、C型肝炎をご存知ですか？あてはまる回答を以下の(1)(2)の選択肢にそれぞれ○をご記入ください。(あてはまる番号それぞれひとつに○をつけてください)

(1) B型肝炎	1. 具体的な症状や治療方法について知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない
(2) C型肝炎	1. 具体的な症状や治療方法について知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

問3 あなたは今までに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか？

1. 受けたことがある
2. 受けたことがない
3. わからない



【1. 受けたことがある】と回答された方は
次ページの問4 にお進みください。

【2. 受けたことがない、3. わからない】
と回答された方は
6ページの問5 からお進みください。

【肝炎ウイルス検査を受けたことがある方に問います】

問4 (1) 検査はどのような経緯で、受けられましたか？これまでに (a)受検したきっかけと (b)受検した場所について、それぞれお答えください。

(1) - a 受検したきっかけはどのような理由ですか？
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため
2. 都道府県や政令市のポプラットやポプラットで、保健所・医療機関での無料の検査を知ったため
3. 職場（加齢健康保険組合等を含む）での定期健康診断の項目にあったため
4. 人間ドックの検査項目にあったため
5. 手術前の検査、内服薬検査などの際に検査されたため
6. 検診での検査等により、医師等が必要と判断したため
7. 妊娠・出産時の検査のため
8. 親戚や知り合いに肝表にかかった人がいたため
9. 献血した際に検査されたため（日本赤十字社によるもの）
10. その他（ ）
11. 特に理由はない（なとなく）

(1) - b 受検した場所はどこですか？
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 保健所
2. 肝炎ウイルス検査を受検することを目的として受診した医療機関（病院・診療所）
3. 肝炎ウイルス検査以外の目的で受診した医療機関（病院・診療所）
4. 職場での定期健康診断や人間ドックの検診施設・医療機関
5. 日本赤十字社の血液センター（献血ルーム・献血車等を含む）
6. その他（ ）
7. 分からない、覚えていない

(2) 受けられた検査の種類はどの検査ですか？
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. B型肝炎ウイルス検査のみ
2. C型肝炎ウイルス検査のみ
3. B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方
4. 分からない、覚えていない

(3) あなたが肝炎ウイルス検査を受けたことを覚えている理由としてあてはまるものすべてを選んでください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

(体調・健康に関する理由) 1. 健康に関する情報が気になるから 2. 身近に肝疾患の方がいるから	3. 自身の肝臓や肝機能に気になるから
(広報に関する理由) 4. 肝炎ウイルス検査結果カードを持っているから 5. 肝炎ウイルス検査結果と同封されていたパンフレットなどを讀んだから 6. 肝炎ウイルスに関する広報 (テレビや新聞広告、広報誌など) を見たことがあるから 7. 身近なところに肝炎に関するポスター等があり目にするから 8. 肝臓や肝炎に関するニュース (B型肝炎やC型肝炎の訴訟など) を見たことがあるから	11. 肝炎ウイルス検査を受けたのが最近だから 12. このアンケートを受け取って置いて置いたから
(その他の理由) 13. 医者から結果を説明されたから 14. 健康診断の結果全てに異常がないから 15. 自身が医療従事者だから	16. 肝炎に興味があったから 17. その他 ()
(4) あなたは、肝炎ウイルス検査の結果をどのように取り取りましたか？ (あてはまる番号ひとつに○をつけてください)	
1. 口頭で説明があった → 誰から説明を受けたか：医師・看護師・保健師・その他 () 2. 口頭で説明は受けていないが、検査結果は受け取った 3. その他 () 4. 覚えていない (5) あなたは肝炎ウイルス検査の結果をご存知ですか？ (あてはまる番号ひとつに○をつけてください)	1. 知っている 2. 知らない (結果待ちを含む) 3. 知らない、覚えていない 4. 検査を受けたが検査結果の説明は受けていない

7ページの問6に
進んでください

(6) 差し支えなければ検査結果をお知らせください。
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスいずれも陽性（感染していた）

2. B型肝炎ウイルスのみ陽性（感染していた）

3. C型肝炎ウイルスのみ陽性（感染していた）

4. B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスいずれも陽性（感染していなかった）

5. 言いたくない

7ページの問6に進んでください

【結果が「陽性」であった（感染していた）方におたずねします】

(7) 結果を受けて、医療機関を受診しましたか？
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. 受診し、治療・治癒したため、今は受診していない

2. 受診し、現在も継続して定期的に受診している（治療中、経過観察中）

3. 受診したが、医師より受診を終了してよいと言われ、今は受診していない

4. 受診したが、自己判断で通院を中止し、今は受診していない

5. 一度も受診していない（今後受診する予定がある）

6. 一度も受診していない（今後も受診する予定はない）

7ページの問6に進んでください

【医療機関を受診された方への質問】

(8) あなたが肝炎ウイルス陽性の結果を相談するために最初に受診したのは、あなたの
“かかりつけ医”でしたか？（あてはまる番号ひとつに○をつけてください）

※日本医師会では、「医療に關すること何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を
紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと」をかかりつけ医と呼んでいます。

1. はい

2. いいえ

3. 覚えていない

7ページの問6に進んでください

(9) あなたは、かかりつけ医から肝臓専門医を紹介されましたか？
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. かかりつけ医を受診した際に肝臓専門医を紹介され、その後肝臓専門医を受診した

2. かかりつけ医を受診した際に肝臓専門医を紹介されたが、肝臓専門医を受診しなかった

3. かかりつけ医を受診した際に肝臓専門医を紹介されず、肝臓専門医を受診したことはない

4. かかりつけ医を受診した際に肝臓専門医を紹介されなかったが、自分で肝臓専門医を探して受診した

5. かかりつけ医が肝臓専門医だったので、紹介は不要であった

6. かかりつけ医を受診した際に肝臓専門医を紹介されたかどうかは覚えていない

7. その他（ ）

7ページの問6に進んでください

【肝炎ウイルス検査を受けたことがない、わからない方に聞きます】

問5 (1) 検査を受けていない理由はどのような理由からですか？
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 忙しいから

2. 検査に行くのが面倒だから

3. 費用がかかるから

4. 検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから

5. 定期的に受けている健康診断等のメニューにないから

6. 自分は感染していないと思うから

7. 悪い結果を言われるのがいやだから

8. きっかけがなかったから

9. その他 ()

10. 特に理由はない

11. 分からない、覚えていない

12. 検査について知らないから

(2) どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思いますか？
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 検査の時間や場所の情報をもっと提供する

2. 検査を受ける理由、検査を受けることでどのような効果があるのか具体的に示す

3. 自分がいつもかかっている医者と連携をとる

4. 検査にかかる費用を安くする

5. 職場や地域（公民館等）など検査を受けられる場所を多くする

6. 夜間や土日等検査を受けることができる時間帯を多くする

7. 定期的に受けている健康診断等のメニューに加える

8. その他 ()

9. 特にない、分からない

次ページの問6に進んでください

【ここからは全員お答えください】

問6 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか？

1. はい

2. いいえ

3. 答えたくない

【はいと答えた方】 それはどのような原因ですか？
(あてはまるすべての原因の番号に○をつけてください)

1. 家庭の悩み、ストレス

2. 仕事・職場の悩み、ストレス

3. 人間関係の悩み、ストレス

4. 経済的な悩み、ストレス（収入・家計・借金等）

5. 自分の健康に関する悩み、ストレス

6. 家族の病気や介護に関する悩み、ストレス

7. 忙しくて自分の時間がとれないストレス

8. その他 ()

問7 あなたご自身は、過去、以下の1)～3)についてご経験がありますか？

1) これまでに献血の経験がありますか？

1. はい

2. いいえ

最後に献血をしたのは

昭和・平成・令和・西暦 () 年頃

【はいと答えた方】 献血された血液は、血液センターにおいて感染症のスクリーニング検査が行われています。そのことをご存じでしたか？

1. はい

2. いいえ

【はいと答えた方】 献血された血液に対して行われているスクリーニング検査項目として、ご存じのものすべてに○をしてください。

() B型肝炎ウイルス検査 () C型肝炎ウイルス検査

() 梅毒血清学的検査 () ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 検査

() ヒトT細胞白血病ウイルス1型 (HTLV-1) 抗体検査

() ヒトパルボウイルスB19検査 () E型肝炎ウイルス検査

() 上記についてはすべて知らない

2) これまでに大きな手術（全身麻酔での手術）をしたことはありますか？

1. はい

2. いいえ

最後に手術をしたのは

昭和・平成・令和・西暦 () 年頃

【はいと答えた方】 手術前に、B型肝炎・C型肝炎の検査を受けたことはありましたか？

1. はい

2. いいえ

3. 分からない・覚えていない

4. 答えたくない

7

258

(3) これまで妊娠・出産をされたことはありますか？

- 最後に妊娠をしたのは 昭和・平成・令和・西暦（ ）年頃
1. はい
2. いいえ

【はいと答えた方】妊婦健診で行われている検査としてご存じのものすべてに○をしてください。

- (¹) 血液型 (Rh 式) (²) 貧血 (³) 梅毒検査
(⁴) 逆型ウイルス検査 (⁵) C 型肝炎ウイルス検査
(⁶) 風疹ウイルス検査 (⁷) ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 検査
(⁸) ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型 (HTLV-1) 抗体検査
(⁹) 不規則抗体検査
(¹⁰) 上記についてはすべて知らない

同

① 厚生労働省では、肝炎ウイルス検査の受検普及啓発活動「知って、肝炎プロジェクト」を推進しています。このことをご存知でしたか？

1. はい

2) 近年、肝炎は、インターフェロニンや飲み薬などの抗ウイルス剤などによる治療が格段に進歩したことにより、早期に検査を受け、早期に適切な治療を受ければ、B型肝炎ウイルス感染薬については肝炎が沈静化できる、あるいは、C型肝炎ウイルス感染薬については肝炎が沈静化できる人の割合が高くなっています。これを受けて、厚生労働省では以下(1)～(3)の取組を進めています。

(1) 保健所や一部医療機関では、今まで検査を受けたことのない人を対象に、「肝炎ウイルス検査」を無料で実施しています。このことをご存知でしたか？

1. はい

(2) 検査の結果、肝炎ウイルスに感染していることが判明した方を対象に、平成27年度から初回の精密検査や定期検査の一部は公費補助を受けられます。このことをご存知ですか？

1. はい
2. いいえ

(3) 検査の結果、インターフェロニンや飲み薬などの抗ウイルス剤による治療が必要と診断された人を対象に、平成20年度から治療費の一部は公費補助を受けられます。このことをご存知でしたか？

1. はい

3) 地方自治体では、厚生労働省の指針にしたがい、肝炎の患者さんが安心して検査や治療を受けたい、日常生活を送ることができるように、検査、治療方法、服薬、治療費の助成制度など肝炎に関する幅広い知識とスキルを持ち、地域で活躍できる人材として肝炎医療コーディネーターの育成を行っています。このことをご存じでしたか？

- はい 2. いいえ

問9 肝炎ウイルス検査の普及啓発、肝炎対策については、地方自治体では以下の取組が行われています。あなたがご存知のものをお答えください。
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 地方自治体の公式雑誌での情報提供 (日本ケイラルス連立 (日本ケイラルス連立) に関する情報)
2. 地方自治体の公式雑誌での情報提供 (新聞紙 (町会、町会、町会、町会) に関する情報)
3. インターネットホームページでの情報提供
4. デラシ、ポスター等の情報への配布
5. デラシ、ポスター等の連絡機関への配布
6. リーフレットの作成・配布
7. 公民館、講習会、研修会、シンポジウム等の開催
8. イベントでの普及啓発、街頭キャンペーン
9. 個人宛にハガキなどで希望を通知することによる受給率向上
10. テレビ放送 (ケーブルテレビを含む)
11. ラジオ放送
12. 新聞広告、折り込み広告
13. その他 ()
14. 上記についてはすべて知らない

※肝炎ウイルス検査の無料実施、治療費の公費補助の詳細については、以下のサイトで確認することができます。

厚生労働省「肝炎総合対策の推進」
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/
kekaku-kansenshou09/index.html

国立研究開発法人国立国際医療研究センター
肝炎情報センター
<http://www.kanen.nogm.go.jp>

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

問 1 0 あなたの性別についてお答えください。(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 1 1 あなたのご年齢についてお答えください。(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. 2 0 ～ 2 9 歳	4. 5 0 ～ 5 9 歳	7. 8 0 ～ 8 5 歳
2. 3 0 ～ 3 9 歳	5. 6 0 ～ 6 9 歳	
3. 4 0 ～ 4 9 歳	6. 7 0 ～ 7 9 歳	

問 1 2 あなたのお住まいの都道府県をお答えください。
また、郵便番号を数字でお答えください。

都道府県名() 〒 -

※郵便番号は、お住まいの地域ごとでの集計・分析のためにのみ使用します。
個人を特定することはございませんので、ご回答をお願いいたします。

問 1 3 あなたのご職業についてお答えください。
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. 医療従事者	8. 農林漁業職
2. 医療従事者以外の専門技術職 (技術者、教員、研究者等)	9. 運輸通信職 (運転士、電話交換手、郵便配達・集配員等)
3. 管理職 (会社団体の役員、管理職等)	10. 生産業務職
4. 事務職	11. 主婦(主夫)
5. 営業販売職	12. 学生
6. サービス職 (接客師、美容師、調理師等)	13. その他 ()
7. 保安職 (警備員、監視員等)	14. 無職

1 1 ページの問 1 4 に進んでください

問 1 4 あなたの加入している健康保険についてお答えください。
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. 国民健康保険	4. 共済組合
2. 全国健康保険組合 (協会けんぽ)	5. 長寿医療制度 (後期高齢者医療)
3. 健康保険組合	6. その他 ()

問 1 5 あなたの今日の健康状態についておたずねします。
下記の (1) から (5) の設問についてそれぞれ、今日のあなたの状態を最もよく表しているものをお答えください。

(1) 移動の程度について (あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. 私は歩き回るのに問題ない
2. 私は歩き回るのにいくらか問題がある
3. 私はベッド(床)に寝たきりである

(2) 身の回りの管理について (あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. 私は身の回りの管理に問題はない
2. 私は洗面や着替えを自分でするのにいくらか問題がある
3. 私は洗面や着替えを自分でできない

(3) ふだんの活動 (仕事・勉強・余暇など) について
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. 私はふだんの活動を行うのに問題はない
2. 私はふだんの活動を行うのにいくらか問題がある
3. 私はふだんの活動を行うことができない

(4) 痛み・不快感について (あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. 私は痛みや不快感はない
2. 私は中程度の痛みや不快感がある
3. 私はひどい痛みや不快感がある

(5) 不安・ふさぎ込みについて (あてはまる番号ひとつに○をつけてください)

1. 私は不安でもふさぎ込みでもない
2. 私は中程度に不安あるいはふさぎ込んでいる
3. 私はひどく不安あるいはふさぎ込んでいる

■■■■調査は以上です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。■■■■

[illegible]

[illegible]

[illegible]

280